

令和2年度決算について

当初 217 億 1 千万円でスタートした予算は、12 回の補正を行い、83 億 6,383 万 9 千円を増額し、また前年度からの繰越額 9 億 7,799 万 7 千円を加え、最終的には、310 億 5,183 万 6 千円となりました。

こうした財政状況の中、「歳入に見合った歳出構造」の考えのもと、施策の積極的かつ効率的な推進に努めました。

結果、前年度に比べ、歳入決算額は 63 億 4,733 万 8 千円の増加、歳出決算額は 59 億 7,996 万 7 千円の増加となりました。本年度の特徴として、新型コロナウイルス感染症の影響により、歳入において国庫支出金、歳出において総務費（特別定額給付金給付事業）と民生費（子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業）等が増えています。

I 決算の状況

1. 決算規模

令和2年度の一般会計は、

歳入 298 億 6,548 万 5 千円（前年度 235 億 1,814 万 7 千円）

歳出 277 億 207 万 4 千円（前年度 217 億 2,210 万 7 千円）

となり、前年度に比べ歳入 27.0%の増加、歳出 27.5%の増加となりました。

歳入歳出差引額（形式収支）21 億 6,341 万 1 千円から、繰越明許費の翌年度へ繰り越すべき財源 2 億 457 万 9 千円を差し引いた実質収支は、19 億 5,883 万 2 千円で、単年度収支は、3 億 7,932 万 7 千円となりました。

表－1 最近5か年の収支状況

（単位：千円）

| 区 分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額 | 22,351,522 | 21,796,115 | 21,554,398 | 23,518,147 | 29,865,485 |
| 歳出決算額 | 21,237,800 | 20,347,953 | 19,961,576 | 21,722,107 | 27,702,074 |
| 歳入歳出差引額 （形式収支） | 1,113,722 | 1,448,162 | 1,592,822 | 1,796,040 | 2,163,411 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 104,889 | 102,692 | 228,239 | 216,535 | 204,579 |
| 実質収支 | 1,008,833 | 1,345,470 | 1,364,583 | 1,579,505 | 1,958,832 |
| 単年度収支 | ▲ 297,974 | 336,637 | 19,113 | 214,922 | 379,327 |
| 積立金 | 658 | 319 | 269 | 211 | 67 |
| 繰上償還金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 積立金取崩し | 104,189 | 313,443 | 630,000 | 525,708 | 360,174 |
| 実質単年度収支 | ▲ 401,505 | 23,513 | ▲ 610,618 | ▲ 310,575 | 19,220 |